

女性——今日、明日、そしていつも⁽¹⁾

テレザ・ペンナ・フィルム⁽²⁾
栗原淑江 訳

二十一世紀が開幕し、進展しつつある現在、死刑を執行されている女性がいる一方で、行政官や経営者として働いている女性もいます。空港の化粧室の床を清掃している女性がいる一方で、国際会議に出席するために飛行機に搭乗している女性もいます。また、自分の子どもたちのために物語を読んで聞かせることができないう女性がいる一方で、子どもたちのための書物を執筆している女性もいます。また、子どもに食べ物を与えることができずに泣いている女性がいる一方で、子どもの誕生日パーティーの残り物を捨てている女性もいます。また、麻薬ディーラーとして銃を持ち運ん

でいる女性がいる一方で、軍隊の一員として闘っている女性もいます。また、息子を警察に引き渡している女性がいる一方で、英雄のように雄々しい息子に拍手を送っている女性もいます。さらに、失敗を嘆いている女性がいる一方で、勝利に歓喜している女性もいます。そして、屈辱を与えられている女性がいる一方で、祝福されている女性もいるのです！

今述べたような逆説的なパラグラフのなかに、東洋から西洋に至る世界中に存在する、悲劇的で驚くべき対照的な差異を見て取ることができます。このような難問は、私たちをどこに導くべきなのでしょう？

こうした現実に対して、人々は何をなすことができるでしょうか？ 人々は、壊れたイメージを心にとどめることができるでしょうか？ 人々は、見捨てられた女性たちを蘇生させることができるでしょうか？

また人々は、忘れられた女性たちを見つけることができるでしょうか？ 以上のような途方もない努力が意味をもつのは、次のような場合のみです。すなわち、今まで決して気がつかれることのなかった、少女たちがもつ隠れた能力を発見するとともに、女性としての歴史において出現するであろう少女たちの能力を育てながら、社会全体が、かつて少女であった女性たちと、女性になるであろう少女たちの問題に同時に取り組む場合なのです。

ハワード・ガードナー (Howard Gardner) が唱える「多重知能理論 (Multiple Intelligences)」⁽³⁾ は、心理学的要因、遺伝子的要因、文化的な要因に由来し、そしてなかならずく奇跡的な「神の摂理」に由来する人間の潜在能力を高めるといふ、広大な作業へと導く有望な道であります。この方向に沿って少女たちを教育し、女性たちを再教

育することは、正義を実践することであり、人類のために役立つという意味をもっています。

ガードナーが特定する八つの知能は、それぞれ他の知能から独立しているとされます。そうした考えは、教育者が学生たちに個別に注意を向けることに取り組ませ、各人が自らの知的な側面を完全に発展させることを可能にし、その結果、各人に職業・天職をもたらします。各個人が表現、認識、記憶、問題解決および創造に関して固有の特質を与える一つあるいは複数のタイプの知能をそなえているであろうと、ガードナーが示唆するとき、このことはさらに重要な意味をもちます。各々の人間の中に隠された偉大な能力は、発見されるべき宝であり、開発されるべき宝であり、そして人類が共有すべき宝なのです。

これらの知能について、簡潔にはあっても分析することは、適切なことだと思われまます。というのも、このような挑戦的な知識は、本論文が焦点を当てている「女性の発展」に関してだけでなく、「すべての世代の発展」に関してより多くの敬意を払うことを促進させ

ることが期待できるからです。

さて、多元的な能力のなかに、対象とシンボルの操作における諸関係、カテゴリーおよびパターン分析に関連する能力があります。それは、パターン、秩序および組織化についての鋭い感受性をともなった制御された方法を実験するためのものです。この能力を用いるのは、数学者、物理学者、科学者、論理学の分野の研究者たちなどです。これは、「論理数学的知能 (logical mathematical intelligence)」とされます。

この知能と同じく重要なものは、言語のさまざまな目的に対する特別な認識をともなう、音韻、リズムおよび語の意味に対する感受性をもつて、人々を納得させ、満足させ、刺激を与え、考えを伝えるために、言語を用いる能力です。詩人、語り手、弁護士、ジャーナリストおよび作家は、この「言語的知能 (linguistic verbal intelligence)」を優越的にそなえています。

もう一つの知能は、空間的、視覚的世界を、物質と形態を正確に取扱うやり方で認識する能力です。そして、こうした認識から、三次元視覚化を含む、視覚的・

空間的な緊張、バランスと構成を創造するのです。これは、彫刻家、画家、建築家、グラフィック・デザイナー、外科医、ナビゲーターおよびパイロットたちがそなえる主要な知能です。それは、「視覚・空間的知能 (visual spatial intelligence)」とされます。

次の知能もまた、芸術家の世界に関連するものです。すなわち、リズム、味わい、トーンに対する特殊な感受性をもつて、音と音楽のテーマを区別し、認識するなかで、音楽を構成したり、再構成したりする能力です。これは、「音楽的知能 (musical intelligence)」とされます。これは、音楽の分野のアーティストたち、すなわち、作曲家、音楽の解釈者、音楽愛好家や批評家たちがそなえる主要な知能です。

以下の知能もまた、芸術に関連があります。それは、問題を解決したり、何かを創造したりする際に、スポーツ、パフォーマンス、視覚芸術における著しくすばらしい運動協調性によって、その人自身の身体を用いる能力です。これは、ダンサー、俳優、運動競技者および熟練工をはじめとする技術的なプロフェッショナル

ナルに特有の「身体運動的知能 (bodily kinesthetic intelligence)」とされます。

次の二つの知能は、個人的理解に関するものです。

まず第一に、他者の気分、ムード、動機づけや願望を、特別な感受性をもって適切に理解し、それらに適切に対応できる能力です。これは、教師、心理学者、販売員、宗教的指導者、政治的指導者や俳優に特有の「对人的知能 (interpersonal intelligence)」とされます。

第二は、自分自身を理解する能力であり、個人的な問題を解決するための知識を用いて、自身の感情、夢、考えにアクセスする能力をめぐるものです。それは、効果的な行動を容易にさせるような個人的イメージを想像するために、自身のニーズ、願望および能力を認識するための、特別な感受性を意味します。これは、哲学者、思想家、宗教的な人々、瞑想や自己省察を行う人々がそなえる主要な知能であり、「内省的知能 (intrapersonal intelligence)」とされます。

最後に、第八の知能は、環境、なかんずく植物相および動物相に関する環境の諸要素を識別し、分類し、

用いる能力に関するものです。それは、「博物的知能 (naturalistic intelligence)」とされ、生態学者、生物学者、環境保護主義者、自然主義者に典型的にみられる知能です。ガードナーは、これまでのところ、これらの知能を特定するだけでしたが、新しい知能の候補があるかもしれないということも指摘しています。

今日の社会に立ち向かうもつともすばらしいチャレンジは、各々の人間的知的なプロフィールを発見することです。女性たちに対してもつぱら行われている多くの不正を補正するための時間は、あまり多くは残されていません。今日、私たちは、残された社会的・道徳的な隙間を埋めながら、それらを構築し、また再構築する必要があるのです。

現在、ガードナーは、将来を見据えて、持続する発展と変革の道における「明日の」女性たちについて考察するために、雄弁さと見識をもって、魅力的で希望に満ちたプログラムを提唱しています⁽²⁰⁰⁷⁾⁽⁴⁾。すなわち、人類が来るべき日に生存しつづけるために必要な「五つの心」を発展させることの重要性を提唱している

のです。著者は、次のように指摘します——各人は、自らがそなえる主要な知能が何であるかにかかわらず、バランスのとれた状態を確保するためには、未来のため「五つの心」をもたなければなりません。各人の心は、すべての個人が生きていることができ、完全な調和のもとで一緒に成長することができるような形で統合を構成するような特性をそなえているのです。

「五つの心」のうち、「熟練した心 (disciplined mind)」は、ある資格や能力を達成するために必要な時間にかかわらず、少なくとも一つの職業をマスターする心です。他方、「統合する心 (synthesizing mind)」は、さまざまな源泉から情報を集めて、それらから意味のある全体像を創造しながら、それらを評価する能力です。情報が恐るべきスピードで増大している現代世界において、このような能力は非常に重要です。

次に、「創造する心 (creative mind)」は、熟練し、統合された心を全体的にまとめあげることから生じます。これは、障害を乗り越える能力であり、新しい思想を提示し、独創的な問いを提示し、予期しないような反応

をもたらす新しい考え方を生み出す能力なのです。こうした心は、もともと洗練された技術的補助といったものを越えるものです。

さらに、「尊敬する心 (respectful mind)」は、今述べた「創造する心」とともに、人々の個性差を観察し、それらを歓迎しながら接触しようとする能力に対応する心であり、それらの個性差を理解し、それらとともに実り多い効果的な仕事を構築する心なのです。

最後になりますが、けっして忘れられてはならないのは、「倫理的な心 (ethical mind)」で、これは、他のすべての心と同じくらい重要です。これは、心のうちでもっとも抽象的なものであると同時に、仕事の性質、および社会そのもののニーズと願望に関係するものです。「倫理的な心」は、個々の利益を越えた目的の達成に立ち向かう能力であり、また、すべての個人々の幸福と安寧を寛大なやり方を用いて探求する能力です。そして、究極的には、男性と女性がもつとも高い理想に対して誠実な心です。すなわち、人間と神の関係に関連する心なのです。

未来の女性たちは、自分自身の尊厳、および社会の尊厳、さらに人類の尊厳を探求するための、身体的、知的、道徳的、精神的な能力をそなえていることを自覚することでしょう。

「今日 (today) の」女性と「明日 (tomorrow) の」女性が収束するこの点において、統合を見出したいという関心がわいてきます。それは、「いつも変わらない (always)」女性といえるでしょう。以下にあげる言葉は、卓越したチリの司教、ドン・ラーモン・アンジェル・ララ (Don Ramon Angel Lara) のものです。かれは、百年前に、女性たちのイメージを不滅にする方法を知っていた人物なのです。

「自らの愛の広大さのゆえに、自らのなかに神の片鱗を示す女性があります。また、間断なく人々に配慮し、世話をするので、自らのなかに多くの天使の存在を示す女性があります。」

彼女は、若いときには、老婦人のように考えます。そして、年老いたときには、若い女性がそなえる強さをもって働きます。彼女は、もし無知であるとしても、

賢い男より多くの知恵をもって生命の神秘を発見します。そして、もし見識をもっていたとしても、子どもたちと同じくらい無邪気です。彼女は、もし貧しいとしても、自分が愛している人々の幸せに満足します。そして、もし豊かであるならば、忘恩という心の苦しみを避けるために、その富を喜んで差し出すことでしょう。彼女は、もし元気で精神的であるとしても、子どもがむずかることに気をもみます。そして、もし元気がなく、か弱いとしても、時にはライオンと同じくらい強靱になるのです。……

彼女が周囲のすべての人々の苦痛が消えるために生きていくのにもかかわらず、私たちは彼女を十分に愛しません。しかし、彼女が亡くなった後、私たちは、自分たちの存在のすべてをあきらめなければならぬでしょう。一瞬であっても彼女に会いたい、ただ一度でも彼女に抱擁されたい、たった一言であっても彼女の声を聞きたいということをあきらめなければならぬのです。

もしあなたが、私が涙でこのページを濡らすことを

望まないならば、この女性の名前を示すことを求めないでください。なぜなら、私は彼女が私の道を越えていくのを見たからです。あなたの子どもたちが成長したとき、このページを読んであげてください。そうすれば、彼らは、あなたの顔にキスをして、次のようにいうことでしょう。控え目な巡礼者が、すばらしく喜んで迎え入れられたという御礼として、あなたと彼らに『母』のスケッチを残したのです」と。

終わりにあたり、次のように述べたいと思います。結婚しているか、独身であるか、寡婦であるか、同伴者がいるか、単独でいるかにかかわらず、女性たちは「今日 (today)」、も、「明日 (tomorrow)」、も、そして「いつも (always)」母という深遠な特質をそなえていることでしょう。女性たちは、生み出し、変化し、祝福するという特質において、つねにそして永遠に「母」であることでしょう。アーメン。

原注

(1) 本稿は、2010年12月1、2日に、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロの「ブラジル哲学アカデミー」で開催された、東洋哲学と西洋哲学をめぐる国際シンポジウム「現代文明と哲学」において発表したものである。

(2) テレザ・ペーナ・フィルメ (Theresa Penna Firme) は、アメリカ合衆国カリフォルニア州のスタンフォード大学で、教育学および心理学の博士号を取得した。リオ・デ・ジャネイロ連邦大学元教授。現在、リオ・デ・ジャネイロのフンダシオン・チエスグランリオ (Fundacao Cesgranio) の評価センターのコーディネーターを務める、国内的・国際的な評価のスペシャリストおよびコンサルタントである。

(3) Gardner, Howard (1983), *Frames of Mind. The Theory of Multiple Intelligences*. New York: Basic Books.

(4) Gardner, Howard (2007), *Five Minds for the Future*. Boston: Harvard Business School Press.

(Theresa Penna Firme / リオ・デ・ジャネイロ連邦大学元教授)

(訳・くりはら としえ / 東洋哲学研究所主任研究員)